

みみタロウ

日本語版 ☆ 1 4 5 号 2022年10月

滋賀県国際協会 ボランティアグループ「みみタロウ」
住所：大津市におの浜1-1-20 ビアザ淡海2F

Tel : 077-523-5646

E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp

URL : https://www.s-i-a.or.jp

Facebook : https://www.facebook.com/siabiwako



今度は私が後押しの番

今回みみタロウは、語学講師や通訳をされている林モニカさん（甲賀市）にお話を伺いました。



31年前、大学を卒業後、保育園を作るという夢の実現のため、夫婦でペルーから来日しました。祖父母は日本人ですが、私はあまり

日本語は話せませんでした。最初に働いた広島工場では、同僚たちはとても優しく、休憩時間に熱心に日本語を教えてくださいました。また週末には遠く離れた国際交流センターでも日本語を勉強し、そうして5年ほど過ぎた頃には随分日本語が話せるようになっていました。友達も沢山でき、すっかり日本での暮らしが快適になって、この安全な国で子どもを育てよう、別の道をたどりながら夢に近づいていこうと決心しました。

その後新潟県に転居し、出産。子どもが幼稚園に入ると、園長先生から「英語ができるなら園で教えてください」とチャンスをいただく幸運に恵まれました。それを皮切りに様々な英会話教室や小学校で教えるようになりましたが、そのうち小さくても自分の教室で自分の方法で教えたいという気持ちが強くなりました。その頃新聞社でチラシ折込みのアルバイトもしていたのですが、ある時その社長さんに教室を持つ夢を語ったところ「隣の部屋を使ってください」と思いもよらない言葉が返ってきました。「あなたは頑張り屋さんで昔の私を思い出します。私も人から助けてもらって今があります。あなたもあきらめないで夢を叶えて、今度は他の人に夢をあげてください」。そして一緒に私の教室に「My Dream」と名付けてくれ、チラシも作ってくれました。滋賀県に来た後も社長さんは私を励ましてくれていて、私の教室も大きくなってオンラインで続いています。

5年前、滋賀県の信楽に引っ越してくると、私はまず地元の国際交流協会を訪れました。そこで様々な情報入手し、日本語教室やイベントに参加したりボランティアでお手伝いするうちに知り合いも増え、ここでの活動も広がっていきました。今では様々な機関で通訳や翻訳をしたり、スペイン語や英語を教えています。そして仕事を終えて自然に囲まれた信楽に帰るとすっかりくつろいで、「一緒にビール、飲みましょうよ！」と近所の人たちに声をかけて、みんなで楽しい時間を過ごしています。

滋賀県に来るまで外国人のほとんどいない地域で暮らしてきたので、ここで大勢の外国人が暮らし、国ごとのコミュニティがあること、そしてペルー人の多くがまだその中でスペイン語だけを使って生活していることに驚きました。「毎日がつまらない」という声も耳にしますが、狭いコミュニティの中では新しい出会いもありないので仕方ありません。それに多くの方が能力を発揮できないまま過ごしていることがとても残念です。日本社会の中に飛び込めないのは、やはり言葉の壁があるからです。私自身、これまで「日本語を頑張らないとあなたの才能がもったいないよ」と周りの人から応援してもらってきました。日本語ができるようになったから日本人の友達もでき、いろんな所に行けて楽しく暮らせているのだと思うのです。だから私は「歳だから今さら無理」とか「外国人だからしょうがない」という人たちには「歳なんて関係ないよ。あきらめないで日本語を勉強しようよ！」と声をかけ、年齢や国籍や性別などの殻を破って一歩踏み出す後押しをしています。どの人も自分から限界点を作らず、目標を持って生き生きと過ごしてほしいですね。

そんな私の今の夢は、夢に向かって頑張っている仲間達を手助けして、一緒にもっと大きな夢を作ること。「My Dream」は大きくなって進行中です！